

発刊にあたって

島根大学の学術刊行物として、昭和 26 年に初めて発刊された島根大学論集（自然科学）の第 1 号に、初代学長 山根新次先生（地質学）は、「大学の教官は教室で学生に知識を授け、教育するという任務をもっているとともに、また自ら絶えず学術の研究に努力すべき義務をもっている筈である」と誠に傾聴すべき訓言を、発刊の辞として寄稿されている。

5 年前、理学部の設置に伴い、文理学部地学教室は、理学部地質学教室として新発足したが、現在では教官 14 名となり、山根先生のこの訓言を旨に、120 名の学生（1 学年 30 名）とともに、Field Geology を教室の研究・教育の柱としながら前向きに努めている。

このような歴史的背景と教室の現況をふまえて、その意欲の一端として、現行の島根大学理学部紀要とは別に、地質学に関する独自の刊行物として、本年度から「島根大学地質学研究報告」を年 1 回の予定で発刊することになった。執筆は、教室構成員だけではなく、卒業生にも投稿を求め、広く地質学に関連する調査・研究の成果を集録し、年々努力を続けて行くつもりである。

発刊にあたって、今後とも大方の御批評と御支援をお願いする次第である。

1982 年 10 月

島根大学理学部地質学教室